

# 埼玉県生協連 1 月度まとめと今後の課題

2020 年 2 月 7 日

埼玉県生協連専務理事 吉川尚彦

## 1. 全体状況

### (1) 2020(令和 2)年新春賀詞交換会

1 月 16 日(木)、埼玉県生協連への日頃のご厚情に感謝を伝えるとともに、出席者との懇談やネットワークづくりの場、会員生協への理解を広げ、生協の認知度をアップする場と位置づけて、2020(令和 2)年新春賀詞交換会を開催しました。大野知事をはじめ、各界を代表する皆様 64 人に出席いただきました。※別紙 1

### (2) 2019 年度第 4 回理事会

1 月 16 日(木)、第 4 回理事会が開催され、議決事項として、埼玉県生協連第 49 回通常総会の開催日時、会場および付議事項の件を議決したほか、通常総会に向けたスケジュール、役員補充選任の進め方、2019 年度事業活動報告と 2020 年度事業活動計画、年間日程、規程類の一部変更と新設についての協議を行いました。

### (3) 助け合い活動交流会

1 月 17 日(木)、浦和コミュニティセンターで 2019 年度助け合い活動交流会を開催し 3 生協 31 人が参加しました。各生協の福祉助け合い活動について、活動のしくみと活動事例について報告し合い、互いの活動を交流しました。交流する中で、担い手がない地域では、他生協の助け合い活動を紹介してはどうかなど、地域で連携していきたいとの声が多く寄せられました。また、活動交流会の定期開催や合同学習会などへの要望も出されました。※別紙 2

### (4) 第 10 回九都県市防災訓練・図上訓練

1 月 21 日(火)、首都圏における大規模な災害発生に備え、九都県市が合同で実施した図上訓練に参加しました。当日は、設定された災害状況、被害状況にもとづき、情報収集や救助活動、物資調達などのシミュレーションを行いました。埼玉県生協連は、この訓練とあわせて、埼玉県からの物資発注への対応訓練を行いました。訓練からは埼玉県生協連として、会員生協の施設や備蓄資源などを具体的に知り、地図上で、どこに何があるかを把握しておく必要性を認識しました。※別紙 3

### (5) 県内消費者団体地区別研修会

「プラスチックごみの現状を学ぶ～持続可能な社会を子どもたちに～」と題して(一社)JEAN の吉野美子さんにお話しいただきました。1 月 20 日熊谷会場には 15 人、1 月 28 日春日部会場には 29 人が参加し、海洋汚染問題の深刻さを自覚し、今自分にできることをすぐに始めないと大変なことになってしまうなどの感想が多く寄せられました。2/7・10 は吉野美子さんと小島あずささんによる講演とワークショップで、4 会場で約 100 人が参加する予定です。

## 2. 分野の取り組み状況

### (1) 食とくらしに関する取り組み

① 1 月 30 日(木)、埼玉県食品安全局との懇談を 1 年 7 か月ぶりに開催しました。CSF(豚コレラ)について、HACCP に関する取り組みについて、埼玉県食品衛生監視指導計画についての 3 項目をテーマに懇談しました。食品安全局からは 7 人、消費者団体からは各生協からの 3 人含め 8 団体 9 人が出席しました。消費者からの質問にも丁寧に説明され、県の取り組みへの理解が広がりました。※別紙 4

② 埼玉県生協連と医療生協さいたま共催のヘルスチャレンジ 2019 が終了しました。全体で 1,280 人(紙ベース 1,223 人、WEB57 人)が参加しました。次年度はヘルスチャレンジの期間だけでなく、フレイル予防や減塩の取り組みと関連づけて実施することも

検討します。

- ③ 1月30日(木)、埼玉労福協・福島県復興支援員・富岡町復興支援員が主催した「3.11を忘れない埼玉集会 2020」が開催されました。埼玉県生協連は報告者として参加し、各会員生協の復興支援の取り組みや福島の子ども保養プロジェクトなどについて報告しました。
- ④ 消費者被害防止サポーター養成講座を県内3か所で実施。1月30日現在のサポーター登録者は県内全体で858人になりました。サポーター登録が0人の横瀬町、東秩父村、ときがわ町に配置することができました。※別紙5
- ⑤ 1月28日(火)、消費者庁委託事業の一環として「消費者被害110番」を実施しました。当日は、弁護士、司法書士など法律の専門家6人が相談にあたりました。情報提供は2件でした(その内1件は検討委員会で検討)。テレビ埼玉の取材があり、当日2回放映されました。今回の取り組みをもとに今後に向けて、告知方法や開催方法などの検討を行います。
- ⑥ 適格消費者団体の取り組み(差止および被害回復)では、現在1件の訴訟が継続中です。書面による差止請求1件(累計3件)、申入れ0件(5件)、お問合せ対応は3件(11件)、検討中11件でした。被害回復の取り組みは、申入れ0件(1件)、お問合せ2件(5件)、検討中3件でした。

差し止め 訴訟	ディー・エヌ・エー	第10回期日が、2020年2月5日(水)13時15分さいたま地裁で行われます。判決言い渡しになります。
------------	-----------	---

※事業者への対応ステップ・・・お問合せ→申入れ→書面による差止請求(41条書面)→訴訟

## (2) 平和・国際支援に関する取り組み

- ① 1月26日(日)、埼玉県原爆被害者連絡会(しらさぎ会)の新春のつどいが開催され、埼玉県生協連から2人が参加しました。被爆75年を迎える今年、被爆者の平均年齢が高くなっており、次世代への継承の取り組みの重要性を痛感しました。
- ② 1月15日(水)、平和のための埼玉の戦争展実行委員会総会が開催され、企画内容など話し合いが行われました。今年度の展示では、オリンピックと戦争を題材にした展示も検討することになりました。実施期間は7/22日(水)、23日(木・祝)、24日(金・祝)です。

## (3) 広報・コミュニケーション

- ① 情報1月号、写真ニュース冬号を発行し、賀詞交換会等で配布しました。
- ② ホームページの会員ページの本番アップに向けて作業中です。

# 3. 行政・諸団体との連携・ネットワーク

## (1) 行政

- ① 2019年度埼玉県と埼玉県生協連第2回定期協議の開催に向けて、日程調整を行っています。

## (2) 埼玉消団連

- ① 1月10日(金)、埼玉消団連幹事会を開催しました。第56回埼玉県消費者大会の参加呼びかけと記念講演について、県内消費者団体地区別研修会のすすめ方について話し合いました。

## (3) 諸団体

- ① 1月10日(金)、埼玉県協同組合間提携推進協議会の事務局会議を開催しました。4月～5月に計画している協同組合連携をテーマにした学習会のテーマ、参加対象などについて、話し合いを行いました。開催日については引き続き調整中です。
- ② 1月20日(月)、第4回25条埼玉県集会の実行委員会が立ち上がり、今年度の集会開

催のための話し合いが行われました。集会は7月23日(木・祝)埼玉会館小ホールで開催予定です。

- ③ 埼玉県フードパントリーの考え方等知るために、埼玉県福祉部にフードバンク埼玉として聞き取りを行い、フードバンクとの関係性について、特に各フードパントリーからフードバンク埼玉や各会員生協への支援要請の考え方などを共有しました。

#### 4. 今後の課題

- 残り2会派との県議会会派懇談を行い、生協の認知度アップを図るとともに地域を豊かにするための意見交換を行います。
- 2019年度事業活動報告と2020年度事業活動計画の論議は引き続き、第4回活動委員会、第5回理事会で行います。
- 第49回通常総会に向けて、会員生協の様々な活動の数値や状況把握を把握します。
- 埼玉県生協連ホームページの会員ページ本番アップに向けて作業を進めます。またスマホ対応を進めます。
- 埼玉新聞生協特集(3月下旬掲載予定)のテーマはSDGsとして「地域社会づくり」の取り組みに特化して紙面を構成するよう準備を進めます。
- 2月12日(水)に開催するJA埼玉県女性組織協議会との早春交流会の準備を進めます。「地域力を高めて安心・安全な避難所運営 ～高齢者・障がい者・こども・女性など多様な視点に配慮する～」と題して、地域で協力し役割発揮できるようにします。
- 2月28日第2回組合員学習会の準備を進めます。現在28人参加申し込みを受けています。今後の活動に活かすことのできる内容ですので、職員含め広く参加を検討ください。
- 3月2日(月)に開催する消費者力アップ学習会 Vol.3「高齢者施設の選び方」の準備を進めます。今後、機関会議でご案内を行いますので参加の呼びかけをお願いします。
- 3月18日(金)、関東農政局と消費者団体との意見交換会が、テーマ「ゲノム編集」で開催されます。今年は定員が増え、グループ交流も予定されていますので、生協から20人程度参加いただきたくご検討ください。

#### 【現在ご案内、集約中の取り組み一覧】

	名称・会場・定員	開催日	申込締切り
1	第2回組合員学習会 「SDGsの国内展開とプラスチック問題」 会場：浦和コミュニティセンター第15集会室 定員：130人 -現在、十分に余裕あり-	2月28日(金) 10時～11時50分	2月14日(金)
2	第25回JA埼玉県女性組織協議会との早春交流会 ● <u>集約は終了していますが、追加・修正などありましたらご連絡ください。</u>	2月12日(水) 10時30分～ 14時30分	
3	消費者力アップ学習会 Vol.3 「高齢者施設の選び方」 会場：浦和コミュニティセンター第13集会室 定員：80人	3月2日(月) 10時～12時	2月28日(金)
4	関東農政局と消費者団体との意見交換会 会場：さいたま新都心合同庁舎(予定) 定員：消費者団体から30人(比較的若手の方)	3月18日(水) 13時30分～16時	2月28日(金)

## 埼玉県生協連 2020(令和2)年新春賀詞交換会報告

2020年1月16日 埼玉県生協連

埼玉県生協連への日頃のご厚情に感謝を伝えるとともに、出席者との懇談やネットワークづくりの場、会員生協への理解を広げ、生協の認知度をアップする場と位置づけて、2020(令和2)年新春賀詞交換会を開催しました。大野知事をはじめ、各界を代表する皆様64人に出席いただきました。



## 1. 開催概要

日時 2020年1月16日(木) 18時00分～19時45分  
 会場 ロイヤルパインズホテル浦和3階「ゴールドルーム」  
 参加者 県行政・県議会6人、友誼団体18人、報道各社2人、消費者団体9人  
 日本生協連2人、埼玉県生協連役員・会員生協27人 合計64人

## 2. 内容

- (1) 開会にあたり、主催者あいさつを吉川会長理事から行いました。出席者の皆さんに感謝を伝えるとともに、台風19号災害に対して、全国の生協から寄せられた募金について触れ「改めて生協の助け合いの精神、組合員のお互いさまの気持ちを実感することができた」と話しました。その後、スライドを使用して埼玉県生協連や県内生協の紹介、行政や諸団体と連携した取り組み事例を報告しました。
- (2) 埼玉県行政を代表して大野元裕知事、埼玉県議会を代表して神尾高善議長よりごあいさつをいただきました。大野元裕知事はあいさつの中で「生協連の皆さんには埼玉県民の安全と安心、食の安全や環境問題に対する取り組みをされていることに感謝します。SDGsは生協が取り組んでいた中身そのものです。誰ひとり取り残さない、ともに共生する社会づくりに力を貸していただき、日本一住みやすい埼玉県を目指していきたいと思います」と話されました。
- (3) また、埼玉県議会各会派、各界を代表する7人の皆様からもごあいさつをいただきました。ごあいさつをいただいた方は次のとおりです。無所属県民会議：醍醐清県議、埼玉県議会公明党議員団：西山淳次県議、日本共産党埼玉県議会議員団：秋山もえ県議、JA埼玉県中央会：永島朗専務理事、NPO法人埼玉消費者被害をなくす会：池本誠司理事長、埼玉県原爆被害者協議会：田中熙巳会長
- (4) 最後に、横山常務理事による閉会あいさつを行い、終了しました。
- (5) 参加者からは「会場の大きさが丁度よく、交流が進んだ」「テーブルの振り分けが変わって、たくさんの方とお話しできた」などの良かったとする意見がありました。反面「食べ切りに関するアナウンスがあった方が良かったのではないか」「立食にすることも検討した方が良いのではないか」などの改善に関する意見もいただきました。次年度の開催に向けて、事務局で検討を行います。



## 2019 年度助け合い活動交流会報告

2020 年 1 月 21 日 埼玉県生協連

## 1. 報告の趣旨

- (1) 埼玉県生協連の各生協の福祉助け合い活動について、地域の中で助け合い活動に関わっている組合員・職員が集まり、互いの活動を交流する助け合い活動交流会を実施しました。生協の枠を越えて地域の中でつながりあいながら、助け合い活動や地域の見守り活動を充実させていくきっかけづくりの場と位置付けています。
- (2) 日時：2020 年 1 月 17 日（金）10 時 30 分～14 時 30 分  
会場：浦和コミュニティセンター第 15 集会室  
参加：3 生協 31 人



## 2. 報告の内容

- (1) はじめに、埼玉県生協連専務理事の吉川より、2000 年に策定された埼玉県生協連の福祉政策などに触れながら、生協の助け合い活動の意義や地域の見守り活動について、説明がありました。
- (2) 次に、助け合い活動のしくみと実際の活動事例について、コープみらい、パルシステム埼玉、医療生協さいたまからスライドとパンフレットなどを使って、それぞれ説明がありました。自治体との関係づくりのためにどのような働きかけをしているか、組合員外でも援助を受け付けることにした経緯についてなど、質疑応答がありました。
- (3) 昼食をはさみ、6 つのグループごとに活動交流をし、最後に各グループから交流内容について発表しました。



## 3. 振り返りシートから

## 参加者の感想

- ・ 高齢者の増加で援助依頼が増える中、担い手不足の中、持続可能な活動のためにはどうしたらいいか。
- ・ 女性を中心に男性の担い手がほとんどいない。男性に参加してもらうにはどうしたらいいか考えたい。
- ・ さまざまなニーズに、まず応えるという姿勢を感じました。
- ・ 悩みや考え方が一緒であることがわかってよかった。

## 一緒にとりくめると思ったこと

- ・ 援助活動の参考になる介護に関する学習会や講習会
- ・ 担い手のいない地域では、他生協のたすけあいの会を紹介する
- ・ 援助者同士のつながりで助け合いが広がるのでは
- ・ 地域ごとに話し合えたらいい

## 4. 次回に向けて

担い手のいない地域での他生協の紹介について、学習会や研修会を一緒に開催したいなど多数の声があることから、実施に向けた検討をすすめていきます。



## 第10回九都県市合同防災訓練・図上訓練参加報告

## 1. 報告

首都圏における大規模な災害発生に備え、九都県市が合同で実施した図上訓練に参加しました。当日は、設定された災害状況、被害状況にもとづき、情報収集や救助活動、物資調達などのシミュレーションを行いました。埼玉県生協連は、この訓練とあわせて、埼玉県からの物資発注への対応訓練を行いました。



## 2. 開催概要

- (1) 日時 2020年1月21日(火) 9時00分～15時00分
- (2) 会場 埼玉県危機管理防災センター
- (3) 参加者 埼玉県災害対策本部に2人派遣、埼玉県生協連事務所1人待機
- (4) 災害設定・被害想定  
 発災時刻 1月20日(月)16時00分 震源 東京23区内 首都直下地震  
 地震の規模 マグニチュード7.3 震源の深さ 27Km  
 震度 埼玉県南部は6弱～6強 避難者数 43,452人(埼玉県)  
 帰宅困難者 約63万人

## 3. 訓練内容

- 訓練は、災害状況・被災状況に応じて必要な対応を進めるプレイヤー(埼玉県職員中止)と、プレイヤーに指示を与えると同時に、プレイヤーからの発信を受けて、物資手配や輸送、救急救命のシミュレーションをするコントローラーに分かれて行われました。
- 埼玉県生協連から参加した2人は、コントローラーとして参加しました。実施時間の中でプレイヤーに2件の指示を出す役割を担うとともに、プレイヤーからの問合せに応えました。また、埼玉県生協連事務所に待機する職員は、物資提供の依頼があった場合に、対策本部にいる職員からの発信を受けて、模擬的に会員生協へ対応に関する訓練を行いました。
- 今回の訓練の中では、プレイヤーから次の問合せがあり対応しました。

時間	内容	部署
10時20分	調達可能な物資の調査依頼	物流オペレーション部
11時15分	毛布手配の依頼	物流オペレーション部
13時55分	2L飲料水のケースに関する情報提供依頼	物流オペレーション部
14時25分	2L飲料水の輸送ができるか問合せ	物流オペレーション部
14時45分	2L飲料水の正式発注FAX受信	物流オペレーション部

※上記以外に、コントローラーとして2件の指示を発信しました。

## 4. 訓練を受けて今後の課題

- (1) 今回は日本生協連の「全国BCP(第5版)」を参考に、調達可能な物資のリストを作成しましたが、災害に備えて実際に調達できる可能性がある商品、その商品の荷姿や大きさのリストを会員生協とともに作成、メンテナンスすることが必要であると考えます。災害対策書の見直しとともに検討を行います。
- (2) 次年度の図上訓練には、埼玉県の訓練にあわせて独自に物資調達に関する図上訓練を実施することについて、検討を行います。

## 2019 年度埼玉県食品安全局と消費者団体の懇談会報告

2020 年 1 月 31 日 埼玉県消費者団体連絡会

## 1. 報告の趣旨

- (1) 埼玉県食品安全局と消費者団体の懇談会を、CSF（豚コレラ）について、HACCP に関する取り組みについて、埼玉県食品衛生監視指導計画についての 3 項目をテーマに開催しました。
- (2) 日時：2020 年 1 月 30 日（木）14 時～15 時 30 分  
会場：埼玉県生協連会議室  
出席者：埼玉県食品安全局 7 人  
消費者団体 9 人（県婦連、新婦人、埼玉県生協連、さいたま市消団連、コープみらい、パルシステム埼玉、生活クラブ生協、埼玉消団連）

## 2. 報告の内容

- (1) はじめに、埼玉県消費者団体連絡会代表幹事の吉川および埼玉県食品安全局長の根岸章王さんからあいさつし、根岸さんからは食の安全に関する消費者啓発や小中学生への消費者教育に力を入れて取り組んでいることが報告されました。
- (2) 懇談では、畜産安全課の平野さんから、CSF(豚コレラ)とは何か、埼玉県での CSF の発生とワクチンの接種状況について、1 月に接種対象の施設の初回接種が終了していることなど説明いただきました。この間、埼玉県で殺処分された豚は 7,621 頭、全体約 9 万頭の 8.4%にあたるものでした。  
消費者からは、CSF の発生原因について特定はされているのか、CSF の正しい表現について、ASF への対策について、豚を殺処分した畜産農家への支援について、万が一 CSF に感染した豚肉を食べても人体には影響がないとされているのに殺処分するのはなぜかなどの質問があり、丁寧にお答えいただきました。  
次に、食品安全課の渋谷さんから、HACCP の推進に向けたとりくみについて説明いただきました。2021 年 5 月の経過措置期間終了までに、事業規模の大小に関わらず全施設（約 5 万施設）での導入を予定しているとの説明に対し、小規模事業者である惣菜店や豆腐店での導入についてはどのようにアプローチしているのかなどの質問があり、具体的な事例で説明いただきました。  
次に、埼玉県の食品衛生監視指導計画について渋谷さんに説明いただき、特に輸入食品対策での検体数が減る計画となっていることについて、HACCP の導入やオリピック関連の検査強化によるものであると説明されました。
- (3) 最後に、埼玉消団連の吉川より本日の懇談の場で丁寧にご説明いただき、埼玉県の取り組みへの理解が広がったことについてお礼を述べ、食の安全・安心について消費者の理解を広げるためには、リスクコミュニケーションを積み重ねていくことをお願いし、会を終了しました。



## 埼玉県受託事業報告(1月度)

2020年1月30日

埼玉消費者被害をなくす会 青木和彦

## 1.消費者被害防止サポーター活動推進事業(サポーター登録累計858人)

## (1)消費者被害防止サポーター養成講座

2019年度サポーター養成講座は、1月22日に横瀬町、24日に小川町、27日に医療生協さいたま西協同病院で開催し、3会場で43人がサポーターに登録されました。

これで計画12回のうち9回が終了し、サポーターは858人になりました。

また、これまでサポーターが配置されていなかった横瀬町、東秩父村、ときがわ町に配置することができました。



## (2)福祉見守り担当者講座

福祉見守り担当者講座は、12月までに年間計画の4回を超える5会場で開催し、福祉関係者や民生委員、自治会関係者、区長会、地域の事業者など5会場合計で281人が受講しました。

また、開催申し込みのあった行田市は、2020年度に開催することとしました。

## (3)第2回全体研修・全体交流会

2019年度第2回サポーター全体研修、全体交流会は、1月30日の申し込み締め切りを待たずに、予定した定員90人を超え95人となったことから、消費行政職員の参加人数との調整を行い、定員95人で一旦申し込みを締め切り、以降はキャンセル待ちの扱いにしています。

また、全体交流会の「サポーター活動の広がり」について、昨年に引き続きサポーターからの報告を準備するとともに、埼玉県の地図に活動状況を写真で表示し、県内全体の状況を一覧できるように準備を進めています。

## 2.高齢者等見守り促進事業(訪問計画県内63市町村／1月30日までに27市・18町・1村を訪問)

1月20日志木市、22日秩父市を訪問し、消費者被害サポーターの養成や連携、消費者安全確保協議会についての状況把握と提案を行いました。3月までに県内すべての市町村を訪問できるように、訪問日程の調整を進めます。

## 3.インターネット適正広告推進事業

## (1)啓発事業および監視事業

インターネット適正広告推進事業は、インターネット広告監視11月分の県への届出を踏まえ、県から指示のあった13事業者に対し1月21日に啓発メールを配信しました。

また、1月分の広告監視は、「健康補助食品」「美容商品」「痩身」「丰胸」「衛生用品」「老人ホーム」をテーマとして1,003件を検索・点検しました。この中から、不当表示と思われる39件の表示内容について担当弁護士の精査を経て、2月5日に埼玉県へ報告する予定です。

## 4.今後の課題

- ①2月～3月のサポーター養成講座(3会場)の開催
- ②第2回全体研修、交流会の開催
- ③2月・3月度市町村訪問の推進
- ④2019年度のまとめ、2020年度事業計画・予算(案)準備



## 第2回組合員学習会ご案内

2019年11月27日 埼玉県生協連

## 1. 提案の趣旨（目的）

- (1) SDGsを単なる課題としてではなく、本当に達成すべき目標としてとらえ、企業も含めた社会全体の変革と一人一人の行動の変革につなげることが求められています。中でも、深刻と言われているプラスチック問題の現状について学び、問題の本質を考える機会とする学習会を開催します。
- (2) プラスチック問題についての現状と今何をすべきかなど、広く共通認識を持てるような場とします。

## 2. 提案の内容

- (1) 日時 2020年2月28日（金）10時～11時50分  
\*当初提案した年間日程から変更になっています
- 会場 浦和コミュニティセンター第15集会室
- テーマ 「SDGsの国内展開とプラスチック問題」（仮）
- 講師 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター  
循環型社会システム研究室室長 田崎智宏さん
- 対象 地域で組合員活動に関わり、運営・サポートをされている方  
地域づくりなどをすすめている組合員のグループメンバーなど  
役職員
- 定員 130人

## 3. 提案の補足

- (1) 当初、第2回組合員学習会のテーマは、第1回組合員学習会での「地域コミュニティや見守り、多世代が参加できる場づくり」報告会を受けて、現状の取り組みの広がり学び、地域で先進的に子ども食堂や学習支援などに取り組む団体の講演を予定していましたが、プラスチック問題に関する学習会を要望する声があったことから、変更し、企画しました。
- (2) プラスチック問題については、第55回埼玉県消費者大会の環境分科会でも（一社）JEANの小島あずささんにお話しいただき、自分に何ができるか考える機会となりました。また、1月から2月に県内4会場で開催される県内消費者団体地区別研修会でも、プラスチック問題の講演とワークショップを行い、問題を自分ごととして認識し、これからの行動を変えるきっかけとしていきます。
- (3) 2月14日（金）までに、参加者について取りまとめていただき、事務局清水桂までお知らせください。

## （参考）

- ・ 講師の田崎智宏さんは、2013年より日本生協連環境政策推進委員会（現・環境サステナビリティ委員会・委員）学識委員をされており、11月に日本生協連が開催した「2019環境トップセミナー」で講演されています。

## 2019 年度 埼玉県生協連 1 月度の活動日誌

月日	会議・行事名称（主な議題・活動内容など）
1/7	第 4 回監事会(吉川・加藤) 神奈川県生協連新年賀詞交換会(大久保) 埼玉新聞社 2020 新年賀詞交換会(吉川・大久保) 埼玉母親大会常任委員会(清水桂)
1/9	埼玉司法書士会新年賀詞交歓会(吉川) 埼玉消費者被害をなくす会第 7 回活動委員会(清水勤・田中)
1/10	埼玉県消費者団体連絡会幹事会(吉川・大久保・清水桂)
1/14	日本生協連全国方針検討集会(吉川・大久保) 日本生協連 2020 年賀詞交歓会(吉川・大久保)
1/15	日本生協連全国方針検討集会(吉川・大久保)
1/16	第 4 回理事会(吉川・大久保・清水桂・清水勤・加藤) 埼玉県生協連 2020 年新春賀詞交換会(吉川・大久保・清水桂・清水勤・相原・倉内・田中・加藤)
1/17	助け合い活動交流会(吉川・大久保・清水桂・加藤)
1/20	県内消費者団体地区別研修会熊谷会場(吉川・大久保・青木・清水桂) 憲法 25 条埼玉集会実行委員会(加藤)
1/21	第 10 回九都県市合同防災訓練・図上訓練(清水桂・清水勤・加藤)
1/22	消費者被害防止サポーター養成講座横瀬会場(青木) 埼玉協同・連帯ネットワーク新春合同賀詞交歓会(吉川)
1/23	栃木県生協連創立 50 周年記念祝賀会(吉川・大久保)
1/24	埼玉消費者被害をなくす会第 3 回理事会・1 月検討委員会(吉川・清水勤・田中) 埼玉県労働者福祉協議会第 7 回理事会(吉川) 消費者被害防止サポーター養成講座小川会場(青木)
1/26	しらさぎ会新春のつどい(吉川・加藤)
1/27	消費者被害防止サポーター養成講座医療生協さいたま会場(青木)
1/28	中央地連第 4 回運営委員会(吉川) 第 4 回県連活動推進会議(吉川) 県内消費者団体地区別研修会春日部会場(大久保・清水桂・加藤) 消費者被害情報収集 110 番(清水勤・田中)
1/30	3. 11 を忘れない埼玉集会 2020(加藤) 埼玉県食品安全局と消費者団体との懇談(吉川・大久保・清水桂) 埼玉消費者被害をなくす会講座等支援チーム会(吉川・青木・清水勤)
1/31	埼玉県プラスチック問題対策協議会(大久保)

## 2019 年度 埼玉県生協連 2 月度の活動予定

2/3	中央地連 MCA 無線訓練 埼玉県と埼玉消費者被害をなくす会との協議会
2/4	院内集会「実現させよう！公益通報者保護法の実効的改正」
2/5	ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会 CSF(豚コレラ)学習会 埼玉母親大会常任委員会 埼玉消費者被害をなくす会 DeNA 訴訟判決
2/6	パルシステム熊谷センター開所式 埼玉消費者被害をなくす会第 8 回活動委員会
2/7	県内消費者団体地区別研修会（上尾） 毎日政経文化セミナー 日本弁護士連合会と適格消費者団体との懇談会
2/8	第 18 回 With You さいたま フェスティバル
2/10	県内消費者団体地区別研修会（川越） 消費者被害防止サポーター養成講座（小川）
2/12	JA 埼玉県女性組織協議会と埼玉県生活協同組合連合会との第 25 回早春交流会
2/13	第 2 回大規模災害対策協議会全体会議 「輸入食品って安全なの??」学習・意見交換会
2/14	第 4 回活動委員会 消費者被害防止サポーター養成講座（鳩山）
2/17	彩の国埼玉環境大賞表彰式 大学部会 フードパントリーネットワーク会議
2/18	埼玉県消費者団体連絡会幹事会 消費者委員会懇談会
2/21	こくみん共済第 2 回共済代理店等推進会議 全国消費者大会実行委員会 「預託商法の法整備について」学習会 全国消費者団体連絡会理事会・運営委員会
2/22	エコ・リサイクル交流集会 2020
2/25	全国消費者フォーラム
2/26	埼玉消費者被害をなくす会 2 月検討委員会
2/27	第 4 回常務理事会
2/28	第 2 回組合員学習会 第 2 回消費者被害防止サポーター全体研修会・交流会（さいたま）